

主の死はすべての人のため

2024年4月7日

ヘブル 2・5～9

詩篇 8・4～6

一章では

序(1)キリストは御使いにまさる方 ∴キリストは神 御使いは神に造られた被造物
" 創造主

∴キリストは父なる神の御子（わたしの子）

∴キリストは主（天と地の造り主・統治者）

永遠、不変、今、父の右の座

(2)人間は御使いにまさる者 ∴仕える霊（救いの相続者に仕える）

御子 > 御使みかひい > 人間

御子 > 聖徒たち > 御使みかひい

I. 後の世（聖徒たちが相続する神の国）は御子に従わせられる

御使みかひいに " のではない

∴神が御子によって世界を創造された

∴御子を万物の相続者と定められた

∴御子が人となって世に来られ、罪人の贖いを完うされた

II. 旧約（詩篇 8・4～6）の預言 = キリストとその御業を示す

人の子 = 人間 ⇒ イエスの自称

6 節 罪深い人間、いさおしなき人間に目を留められる神の過分の顧み

7～8 節 人、これ、彼 = 直訳：彼 = 9 節 イエス

(1) わずかの間、御使みかひいよりも低くされた（受肉＝人となった） 謙卑

受肉 ～ 十字架上の死、よみに下った

被造物である御使みかひいよりもさらに低い人間として現れた

" り、罪ある人間の贖いのための死を遂げた

(2)その後は、復活・顕現・昇天・着座 高挙
栄光と誉れの冠 : 死の苦しみゆえ = 勝利者・王
万物を彼の足下に置いた = 万物は彼に従う

Ⅲ. イエス・キリストの死

(1)すべての人のために味わわれた
全人類を救うことができる
しかし、信じるすべての人にだけ有効（信じない人は得られない）

例：①イザヤ 53・11、12
多くの人を義とし、……多くの人を彼に分け与え……多くの人の罪を
負う

②マルコ 10・45
人の子も……多くの人のための贖いの代価として、自分のいのちを
与えるために来た

(2)神の恵みによって
人の思い、願い、欲求、功ではない
神の憐れみ、慈しみ、受ける資格がない者への無償の、途方もない愛による

Ⅳ. 今日は聖餐式

- (1)救い主イエス・キリストの御業を覚えるため
- (2)救いにあずかった者たちによって
- (3)世の終わりまで
- (4)パン（キリストの裂かれたからだ）とぶどう液（キリストの流された血）を用いて
- (5)繰り返し、聖徒たちの聖化の前進のために執り行われる

救いの確信、主への感謝、隣人への愛、目指す御国の栄光と希望を新たに、今月の主と共なる歩みを進めよう